

情報教育だより

宮城県立光明支援学校

2025年 7月16日 (水)

教育情報化推進リーダー

No. 1 担当 加藤 明日香

本校のICT活用の様子をお伝えします。

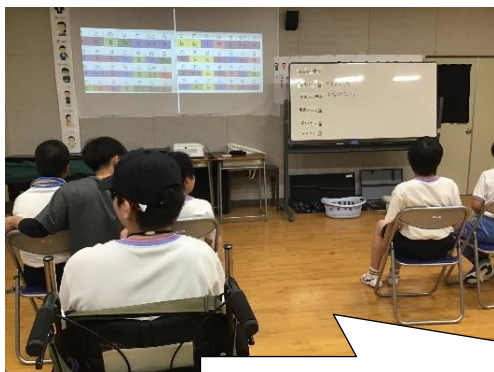
今年度から情報教育だよりを発行し、各学部・課程のICTの活用の様子や情報教育がどのように行われているのかお伝えしていきます。児童生徒が真剣に活動する様子や楽しく学習をする様子を学部ごとの記事を通してお届けします。

小学部A課程



生活単元学習「体を動かそう」のオリエンテーションでは、スライドのページめくりを、児童がスイッチを押して自ら操作をしました。「hook+」という機器を介しiPadをスイッチで操作できるようにしました。スイッチは、かすかな動きで動く棒スイッチを使用しました。児童は、画面が変わることを期待しながら、指を動かしてスイッチを押して学習の進行係を行いました。自分からスイッチを押して授業を進め、友達へ働きかけることができました。「自分でできた。」という実感を持つことができました。

中学部B課程

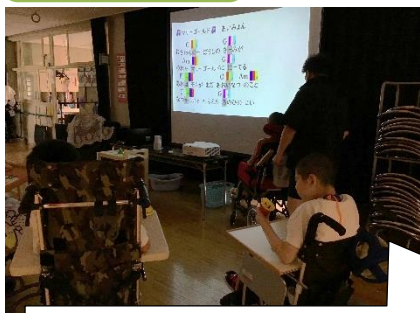


わくわくタイムの「文化コース」では、iPadを使った調べ学習の時間に、iPadの使い方や見る姿勢についての学習を行いました。姿勢を意識しながら、自分の好きな画像や動画を検索して楽しんでいました。



音楽の時間では、プロジェクターに映し出される楽譜の動画見て、同時に流れる音楽を聴きながら、「たなばたさま」の演奏をトーンチャイムで行いました。楽譜を目で追いながら上手に合奏できました。

高等部A課程



職業の時間に、3年生の事業所実習報告会を行いました。活動の様子がスクリーンに映るとまじまじと見つめ、頑張ってきたことの発表を聞いていました。

音楽の時間に、スクリーンに映し出される楽譜を見ながら、あいみよんの「マリーゴールド」に合わせたデスクベルの演奏を行いました。みんなで素敵なハーモニーを奏でました♪

